

朱建栄教授が消息を絶った件について

8月9日、時事通信社から朱建栄教授の消息についての報道がなされて以来、われわれ華人教授会議の全員が重大な関心を寄せ、冷静且つ理性的に対応して参りました。憶測を交えた各種報道に惑わされず、関係諸部門と緊密な関係を保ち、ことの真相を把握するよう努めて参りました。現在、朱教授が事情聴取に応じていることがほぼ確定したことを踏まえて、次のような態度表明をさせていただきます。

1、朱建栄教授は華人教授会議の創設者の一人で、4期9年にわたって代表を務められました。過去10年間、この組織の発展と健全化のために並々ならぬ力を尽くされ、同時に、日中間の懸け橋として非凡な才能を発揮し、大いに活躍してこられました。われわれは朱教授の現況を深く憂慮し、彼が一日も早く正常な生活に戻れることを心待ちしています。

2、われわれは、中国が法治国家として、法律に基づいて関係当局が本件を公正に処理されるであろうことを信じています。日中関係が厳しい状況にある今日において、両国関係の改善に努める朱建栄教授の姿勢を評価しなければならないと同時に、本件について「实事求是」の精神に基づき、また大局的見地に立って正当な判断がなされることを信じています。

3、「華人教授会議」は、日本に研究活動の拠点を持つ学者、研究者の学術交流団体であり、日中両国の関係部門と有識者から深い信頼を得ています。2013年夏期中国訪問団（8月25～9月4日実施）は、例年と変わりなく、中国外交学会、甘肅省人民政府等と国際関係、地域開発、教育発展などをめぐって突っ込んだ意見交換を行いました。また来る11月2日に予定通り第10回国際シンポジウムを開催することになっております。われわれは、本会創設の精神に基づき、諸般の活動をより活発に展開していく所存であります。

この一カ月余り、日中両国の関係部門と有識者は、朱建栄教授とわれわれ華人教授会議に対して心温まる関心と同情の念を寄せて下さいました。われわれ華人教授会議は、困難を恐れず、正しい方向を目指して引き続き努力して参りますので、今後ともご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

日本華人教授会議幹事会

2013年9月18日